

毎日教育総合研究所 Presents

AI時代に向けた 教育はどうあるべきか

AI(人工知能)の進化で、この先、10~15年で今の仕事の14%(OECD 報告書)がAIに取って代わられるともいわれています。グローバル化もさらに進み、日本でも「英語は話せて当たり前」の時代がすぐそこまで来ています。これまでの経験では推測できない時代の始まりです。そんな世の中を生きる子供たちに必要な教育は何か。家庭や教員はどう関われば良いのか。課題はどこにあるのか。

2020年度からの入試改革も踏まえ、高校、大学、文部科学省からゲストを迎えて「教育の毎日」が次代の教育について考えるシンポジウムを開催します。

2019年8月8日(木) 14時開演 参加費無料

毎日新聞東京本社 B1F **毎日ホール**

東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 (地下鉄東西線「竹橋駅」直結)



出口 治明

立命館アジア太平洋大学(APU)学長
ライフネット生命創業者
著書に『全世界史(上・下)』(新潮社)など多数



池田 靖章

香里ヌヴェール学院中学校・高等学校校長
関西 21 世紀社会科の会などを運営
著書に『SDGs 探究ワークブック』(noa 出版)など



浅田 和伸

文部科学省総合教育政策局長
入省後品川区立大崎中学校校長
著書に『教育は現場が命だ』(悠光堂)

主催：毎日教育総合研究所 共催：毎日新聞社

お申し込み方法は裏面をご確認ください→

■シンポジウム概要

- 【日時】 2019年8月8日(木) 14時～17時
- 【会場】 毎日新聞東京本社 B1F 毎日ホール (東京メトロ東西線「竹橋駅」直結)
- 【参加費】 無料
- 【内容】 講演① 出口治明氏 『未来を生きる生徒に必要な高校教育』
講演② 池田靖章氏 『真のグローバル教育と未来を見据えた進路指導』
講演③ 浅田和伸氏 『教育の針路～学校現場と教育行政の視点から～』
パネルディスカッション 『AI時代に向けた教育はどうあるべきか』
司会：澤圭一郎 (毎日教育総合研究所代表取締役)

■主催者紹介

毎日教育総合研究所は、「ニュース時事能力検定」の運営会社として2007年に産声をあげました。140年以上の歴史を誇る毎日新聞のDNAと、ベンチャースピリットを併せ持つ会社です。



▼メールでお申し込みの方は info916936@newskentei.jp まで

【件名】 シンポジウム参加希望

【本文】 ①貴団体名(フリガナ) ②お名前(フリガナ) ③電話番号 ④ご担当(教科) ⑤ご質問等

▼FAXでお申し込みの方は以下をご記入のうえ **【03-3212-5117】** まで

フリガナ		フリガナ	
貴団体名		お名前	
電話番号		ご担当(教科)	
メールアドレス	@		
ご質問等			

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきますのでご了承ください。

受け付け締切日: 7月31日(水)

お問い合わせ先: 03-3212-1406 (毎日教育総合研究所)